
「日本橋再生計画」が目指す ハードとソフトの融合 「福德の森」完成へ 2016年9月28日(水) 森開き 日本橋の賑わいの中心に1,000㎡超の憩いの空間誕生 新たな地域コミュニティを創出する拠点に

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区)は、「(仮称)日本橋本町二丁目特定街区開発計画」において事業を推進してきました「福德の森」が、本年9月28日(水)に森開きすることを決定しましたので、お知らせいたします。

現在、日本橋では、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」をテーマに官民地域が一体となって、「日本橋再生計画」を推進しており、当社は推進メンバーの一員として様々な取り組みを行っています。日本橋固有の歴史や文化、水辺空間、コミュニティなどのアイデンティティーをベースとして、働く、住まう、遊ぶ、憩うなどの様々な機能を複合した街づくりを目指し、ハードを創るだけでなく、ソフトの付加価値創出事業を展開しています。

日本橋は江戸時代から、五街道の起点として多くの「人」が行き交い、歴史と伝統を受け継いだ老舗の商店や企業、住民など地域コミュニティの「人」が中心となって江戸文化の発信を担ってきました。

「福德の森」は、そうした日本橋のアイデンティティーをベースに、2014年に再興した「福德神社」と連続した1,000㎡超の広場空間として人々に憩いの場を提供するとともに、人々が集い、交流し、地域コミュニティを新たに創出し、発信していく拠点となることを目指して、周辺の住民や団体、企業などにひらかれたイベントスペースとしても機能します。

9月28日(水)からは森開きを記念して、日本橋の「人」に着目し、「人」を通して、日本橋の魅力に触れていただく「日本橋 熙代祭(きだいまつり)」を10月9日(日)まで開催します。

また、江戸時代から多くの薬種問屋が軒を連ねて、現在も多くの製薬企業が拠点を構える「くすりのまち」日本橋の歴史を象徴する「薬祖神社」も、昭和薬貿ビル屋上から「福德の森」敷地内に移転する予定です。

今、日本橋では、商業施設「コレド日本橋」「コレド室町」のオープンや当社も参画する「ライフサイエンス・イノベーション」の取り組みなどによって、これまで以上に多様な人々が集い、新たな賑わいが生まれています。その中心で、ハードとソフトの融合によって新たな地域コミュニティを創出する「福德の森」は、「日本橋再生計画」の象徴となる取り組みです。



「福德神社」と「福德の森」全体イメージ

— 「福德の森」の主な特徴 —

1. 働く、住まう、遊ぶ、憩う、様々な人々が繋がる、地域コミュニティを新たに創出する空間
 - (ア) 日本橋エリアで希少な有効面積約 300 m²のイベントスペース
 - (イ) 地域コミュニティのイベント拠点、ひいては、日本の自然・文化・伝統を象徴するイベント発信拠点へ
 - (ウ) 日本橋の歴史と文化の情報発信も担う飲食店「芽吹茶屋」が新たにオープン
2. 日本の自然と日本橋の歴史と伝統を再現した憩いの空間
 - (ア) 日本の代表的な雑木林を再現したエリアと日本の名所景観を再現したエリアで構成し、日本の山野草 50 種類以上を植樹することで、日本の自然の雰囲気を出しつつ日本の四季の賑わいを表現
 - (イ) 江戸時代から多くの薬問屋が軒を連ね、現在も多くの製薬企業が拠点を置く「くすりのまち」日本橋の歴史の象徴でもある「薬祖神社」が移転

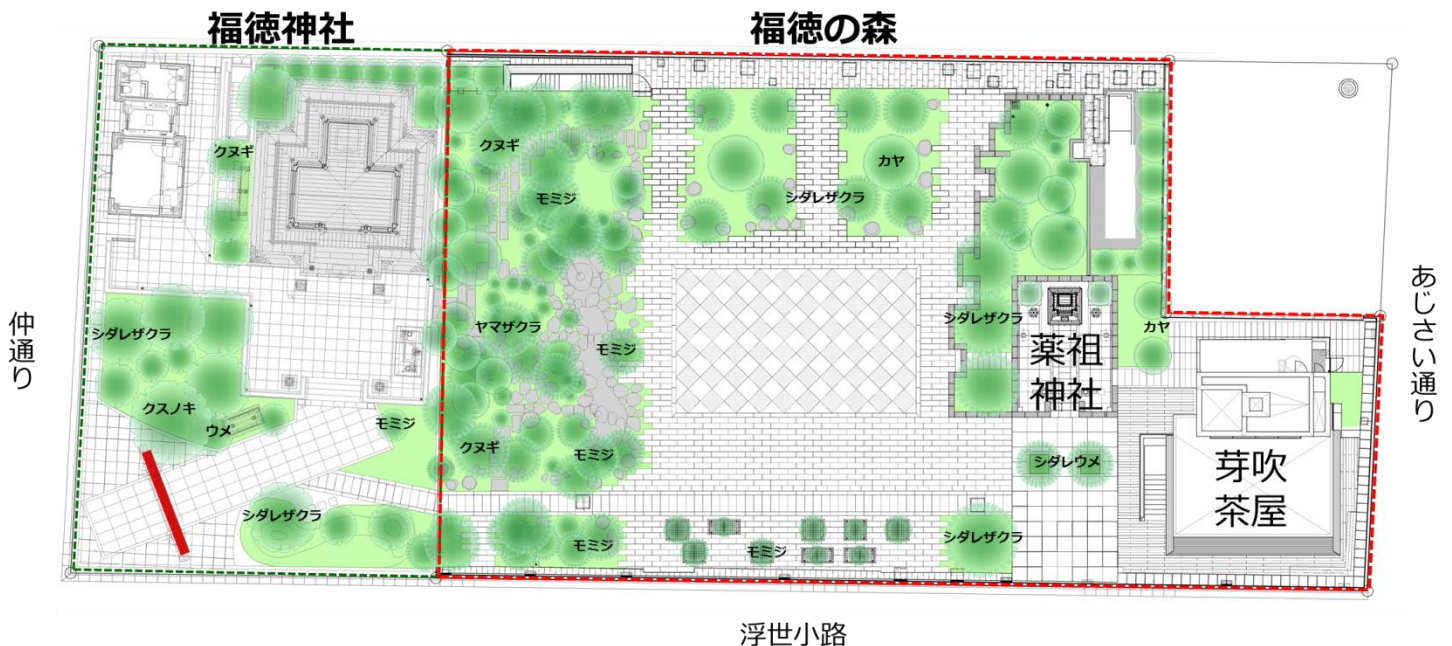
■「福德の森」概要

名称	福德の森
所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目5番-10
敷地面積	1,234.54 m ²
設計者	株式会社日本設計
施工者	清水建設株式会社
着工	2015年1月
地上部竣工	2016年9月28日

※地下商業空間含めた全体竣工は2017年度中を予定



右:「福德の森」位置図



「福德神社」と「福德の森」平面図

－ 「福德の森」森開き連携イベント －

* 各イベントの詳細については、後日お知らせします

「日本橋 熙代祭(きだいまつり)」

【日程】 9月28日(水)～10月9日(日)

【概要】 日本橋の「人」をテーマに、江戸時代の日本橋を描いた絵巻物「熙代勝覧(きだいしょうらん)」をモチーフにしたイベント

「福德の森 開設セレモニー」

【日程】 9月28日(水)14:00～(予定)

【概要】 「福德の森」の竣工を記念したプレス向けセレモニーを開催予定

【主催】 三井不動産株式会社

「福德の森開き」

【日程】 9月29日(木)～10月2日(日)

【概要】 日本橋の老舗の飲食店舗がオリジナルのお弁当を販売する「福德の森 弁当祭 mori ben」や、約100種類の日本酒が一同に集う「福德の森 日本酒祭 mori nomi」を開催

【主催】 日本橋文化交流フェスティバル実行委員会(日本橋北詰商店会、名橋「日本橋」保存会、室町一丁目会、室町二丁目町会、一般社団法人日本橋室町エリアマネジメント、三井不動産株式会社)

「江戸あそび ～伝統文化フェスティバル～」

【日程】 10月7日(金)～10月9日(日)

【概要】 伝統芸能の実演家によるパフォーマンスや様々な伝統文化を体験できるワークショップなど多彩なプログラムを実施予定

【主催】 東京都／アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)／日本橋文化交流フェスティバル実行委員会

「日本橋 美食熙代屋台」

【日程】 10月8日(土)・9日(日) 12:00～18:00(予定)

【概要】 2日間限定で日本橋の老舗の味を味わうことのできる食屋台等を展開予定

【主催】 日本橋文化交流フェスティバル実行委員会

■参考情報

<福徳神社について>

清和天皇の貞観年間(859~876年)には既に日本橋に鎮座していたといわれています。神社の主祭神は「宇迦之御魂神」(うかのみたまのみこと)という五穀豊穰の神様です。徳川家康をはじめとする歴代の徳川将軍家も信仰し、二代将軍・秀忠が1614年正月に参詣した折には、「福徳とはまことにめでたい神号である」と称賛の言葉を残したといわれ、この時、櫛(くぬぎ)の木からなる鳥居に若芽が萌え出たことから「別名:芽吹稲荷」と命名されました。2014年10月の新社殿竣工を機に、地元の人々が中心となって「芽吹会」が組成され、以後、福徳神社祭礼やその他神社の発展・周辺商業振興に資する様々な行事を主催・協力し、福徳神社は地域コミュニティの核となっています。

<薬祖神社について>

日本橋本町の薬業界は、昔から、医薬の祖神と言われる大穴牟遲神(おこなむちのかみ)と少名毘古那神(すくなひこなのかみ)の二神を祭神とする水戸の大洗磯前(いそさき)神社や酒列磯前神社、東京上野の五條天神社に参詣して、崇敬の念を表してきましたが、明治41年(1908年)東京薬種貿易商同業組合(薬貿協会の前身、現公益社団法人東京薬事協会)が前述の五條天神社から薬祖神の御霊を迎え、11月22日、23日の両日、日本橋本町において大祭を行ったのをきっかけとし、以後、隔年に大祭を執行してきました。そして、昭和4年(1929年)11月、事務所建物の屋上に薬祖神社を造営し、以後、日本橋本町に鎮座して「くすりのまち」日本橋の象徴となりました。毎年10月中旬に例大祭が挙行されています。

<三井不動産の日本橋ライフサイエンス・イノベーション推進事業について>

三井不動産は、事業領域拡大のための新産業創造を重要な戦略と位置づけています。2016年3月、医薬関連企業が集積する日本橋エリアを拠点に、産官学連携によるライフサイエンス領域でのオープン・イノベーションを促進して新産業創造を支援するため、アカデミア有志とともに一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)を設立しました。三井不動産は日本橋において、ライフサイエンス拠点の整備や、グローバルビジネスの支援機能を強化するとともに、LINK-Jと連携し、国内外のイノベーターたちが分野を超えて出会い、共創する環境をつくります。